

日米共同情報分析組織について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

記

【情報提供内容】

○ 日米共同情報分析組織の設置について

(1) 趣旨

我が国周辺の安全保障環境が厳しさと不確実性を増す中、我が国周辺における情報収集態勢の強化及び情報分析能力の強化は、我が国の防衛上喫緊の課題。

本年11月21日、米軍の情報収集用無人機MQ-9が我が国における運用を開始。これを契機として、日米の情報収集アセットが収集した情報を共同で分析するための組織を横田基地内に設置。

これにより、日米の情報収集、警戒監視及び偵察活動（ISR）における協力関係の一層の深化を図る。

(2) 概要

ア 設置場所

横田基地内の既存施設

イ 人数規模

日米十数名ずつ、合計30名程度

ウ 任務

日米の情報収集アセットが収集した情報を日米共同で分析し、日米の各部隊に共有

エ 対象とする情報

我が国周辺海域における艦艇、船舶の所在等に関する情報

オ その他

本組織の設置にあたり、横田基地内にMQ-9などの新たな情報収集アセットが持ち込まれることはない。

- 日米共同情報分析組織の運用開始式典の実施について
別紙のとおり



【お知らせ】

令和4年11月29日
統合幕僚監部

日米共同情報分析組織の運用開始式典の実施について

鈴木統合幕僚副長は、令和4年11月29日（火）、横田基地内において、ラップ在日米軍司令官と共に日米共同情報分析組織の運用開始式典を執り行いました。

日米共同情報分析組織は、日米の情報収集アセットが収集した情報を共同で分析するものです。

運用開始式典において、鈴木統合幕僚副長及びラップ在日米軍司令官は、我が国周辺の安全保障環境が厳しさと不確実性を増す中、力による一方的な現状変更を断じて容認しないという決意の下、日米共同作戦能力及び同盟関係の強化に取り組むことの重要性を示しました。また、本組織の運用開始が、日米の情報分野での協力を深化させ、日米同盟の抑止力・対処力の更なる強化に繋がることを確認しました。

自衛隊は、本組織における共同分析を通じて、日米の情報収集、警戒監視等における協力関係を一層深化させ、地域の平和と安定に寄与していきます。

